

光 迪

(こうてき)＝「広く大きなものを求めて進む」

－土岐小学校の精神－

目標に向かって努力した4か月間

校長 松井克仁

今日で夏休み前の授業が終わりました。後半は毎日暑い日が続きましたが、子供たちは学級や一人一人の目当てに向かってがんばった4か月間でした。

子供たちのがんばりの姿を少し紹介します。まず挨拶です。児童会の生活委員会が毎日玄関に立って登校する子たちに「おはようございます！」と元気よく声かけをしています。また分団登校中もリーダーが班員に「あいさつするよ！」と声をかけながら横断歩道を渡っていきます。これらの取組等のお陰で、進んで挨拶できる土岐っ子が増えています。学習面では、どの学級も一生懸命に授業に取り組みました。先生や仲間の話をよく聞いて、自分で考えたり、仲間と相談したりしながら課題を解決しました。異学年の縦割りグループ「なかよし」活動では、6年生がリードして遊びを考えたり、ルールを工夫したりしてメンバー全員が楽しく遊べるように努力しました。また、ペア掃除では高学年が低学年に掃除の仕方を教えたり自らの姿で示したりして、全校で学校をきれいに掃除ができました。このように、様々な取組を通して学級や学校全体が成長するとともに、一人一人も確実に成長することができました。



【高学年が手本となる分団登校】



【対話を通して学びを深める学習】



【高学年と低学年ペアによる掃除】

これらの成長ができたのも、保護者の皆様が子供たちが学校で力を発揮できるように支えてくださったお陰です。また地域の方々にも、子供たちを温かく見守っていただき、授業支援や読み聞かせ等をしていただきました。心より御礼申し上げます。

さて明日からは夏休みが始まります。夏休みは家庭や地域が子供たちの学びの場となります。思い出に残る夏休みが過ごせるよう、これまで同様ご支援をお願いします。

普段できないことに挑戦する夏休みに！

国立青少年教育振興機構の「子供の頃の体験がはぐくむ力とその成果に関する調査研究」という報告書（H29年）には、「子供の頃、家族の愛情・絆を基盤に、遊びに熱中するなど様々な体験をした人ほど、自己肯定感が高く、へこたれない大人になる」とあります。

夏休みは、普段できないことに挑戦するよい機会です。例えば、一作品一研究に少し長い時間をかけて取り組む、家族でキャンプにでかけ自然の中で遊ぶ、好きな〇〇に没頭する等、子供の特性や家庭環境に合わせて工夫してみてください。その際保護者の皆さんも子供と一緒に（子供以上に）楽しみましょう。親が熱中していることには子供も興味をもちやすいものです。お仕事の都合でなかなかお休みが取れない方もいらっしゃるかもしれませんが、家でできることをインターネットや本等で子供と一緒に探すのもいいかもしれません。そんな時間も、「親が自分のために一緒に考えてくれた」よい思い出となるはずです。ぜひこの夏休みに、家族で様々な体験をし、心に残る思い出がたくさんできると素敵ですね。

8月末にまた元気一杯な子供たちに会えるのを楽しみにしています。